

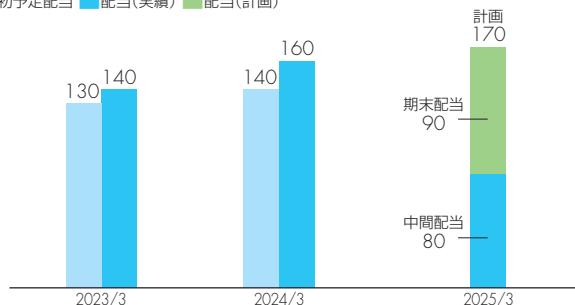
# 株主還元

当初計画通り、2024年度の間配当金は80円としました。  
期末配当金は90円の計画です。(1株当たり年間配当金170円)  
これからもSRAホールディングスは「株主還元の更なる充実」を  
目指してまいります。

## 1株当たり配当金

(単位:円)

■ 当初予定配当 ■ 配当(実績) ■ 配当(計画)



## SRAグループの拠点

## The SRA Group



SRA 株式会社SRAホールディングス

2025年3月期

## 中間期 株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日

株式会社SRAホールディングス

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-32-8

TEL: 03-5979-2666 <https://www.sra-hd.co.jp/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

TEL: 0120-232-7111(フリーダイヤル)

(返還先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



証券コード 3817

皆様には、日頃から格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間連結会計期間におきましては、米中摩擦、ウクライナ問題、中東情勢の緊迫化など地政学リスクが高まるなか、欧米における景気後退懸念や、中国不動産不況の継続など、先行き不透明な状況が継続しています。一方、国内景気は、物価高騰の一方で雇用や所得環境の改善もあり、緩やかながらも回復基調が続いています。情報サービス産業においては、業務効率化やビジネスの改革等の投資需要は堅調に推移しております。しかしながら、製造業の一部のお客様においては、既に中国の不況の影響を受けている会社や、足元で不透明感が増している自動車関連の会社など、今後のシステム投資への影響が懸念されるお客様も存在しております。加えて、米国大統領選挙においてトランプ氏の再選が確実になったことにより、先行きの不透明感は一層深まったものと考えられ、今後の下振れリスクに備え、これまで以上にお客様の動向をしっかりと注視する必要があるものと認識しております。

そのようななか、当中間連結会計期間の連結業績につきましては、売上高は、開発事業、運用・構築事業、販売事業の全てのセグメントにおいて増加し、23,849百万円（前年同期比5.5%増）となりました。損益面におきましては、売上総利益は6,181百万円（同7.0%増）、営業利益は3,615百万円（同10.6%増）といずれも増益となり、売上高、売上総利益、営業利益ともに中間連結会計期間として過去最高額を更新しております。一方、前中間連結会計期間においては為替相場が円安になったため為替差益を計上しましたが、当中間連結会計期間においては円高になったため為替差損を計上した結果、経常利益は1,462百万円減益の3,142百万円（同31.8%減）に、また、中間純利益は2,062百万円（同28.5%減）となりました。しかしながら、これらはあくまで評価上の損益でありキャッシュの異動は伴わないため、2024年度の中間配当金は、当初計画通り1株当たり80円としました。なお、期末配当金は90円、年間配当金170円の計画です。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

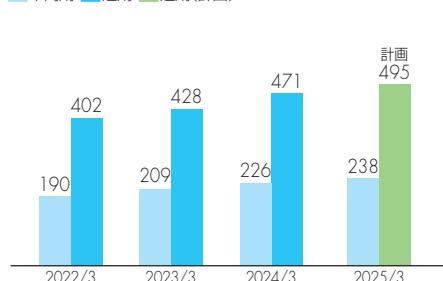
株式会社SRAホールディングス  
代表取締役社長 **大熊 克美**



## 中間期 連結業績ハイライト

売上高	23,849百万円（前年同期比	▲	5.5%増
営業利益	3,615百万円（前年同期比	▲	10.6%増
親会社株主に 帰属する 中間純利益	2,062百万円（前年同期比	▼	28.5%減

売上高 (単位：億円)



営業利益 (単位：億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位：億円)

